

令和7年(2025年)12月1日

札幌市長 秋元 克広 様

札幌市環境影響評価審議会
会長 渡部 要



札幌市西部スラッジセンター3～5系焼却施設改築事業
環境影響評価方法書について（答申）

令和7年11月11日付け札環対第50846号にて当審議会に諮問のあった標記の件について、下記のとおり結論を得たので答申する。

記

本事業は、札幌市手稲区手稲山口322番地を事業実施区域として、下水道法（昭和33年法律第79号）に基づく下水汚泥処理施設である札幌市西部スラッジセンターの3～5系焼却施設を同一敷地内において改築するものである。

環境影響評価の実施及び環境影響評価準備書の作成に当たっては、次に掲げる事項について十分留意し、本事業による環境影響を極力回避又は低減すること。

1 複数案の絞り込みについて

本事業実施想定区域の周辺には、環境の保全についての配慮が必要な住居等が存在することから、改築後の焼却施設の稼働に伴う環境への影響が極力回避又は低減されるよう、煙突の高さや計画建築物の構造等について十分考慮の上、適切な絞り込みを行うこと。

特に煙突高さについては、計画段階環境配慮書から継続した論点であることから、施設構造の観点と大気拡散等の環境影響の観点から、3案それぞれの予測及び評価を行ったうえ、各案の合理的な比較検討を行うこと。また、絞り込みの理由について明らかにすること。

付 屬 資 料

目 次

1 諒問書	1
2 審議経過	2
3 札幌市環境影響評価審議会委員名簿	3

1 諒問書

札環対第50846号
令和7年(2025年)11月11日

札幌市環境影響評価審議会
会長 渡部 要一様

札幌市長 秋元 克広
(公印省略)

詔 問 書

札幌市西部スラッジセンター3～5系焼却施設改築事業環境影響評価方法書について、環境の保全の見地から意見を述べるに当たり、札幌市環境影響評価条例第14条第2項の規定に基づき、詔問いたします。

2 審議経過

開催年月日	審議会	内 容	出席委員数
令和7年(2025年) 9月9日	本会議(Web会議)	・事前審査	11名
令和7年(2025年) 11月11日	本会議(Web会議)	・諮詢 ・審議	10名
令和7年(2025年) 12月1日	本会議(Web会議)	・答申案審議	8名

3 札幌市環境影響評価審議会委員名簿

(令和7年4月1日から令和9年3月31日まで)

氏名	分野	職業（役職）
会長 渡部 要一	地盤環境	北海道大学大学院 工学研究院 土木工学部門 社会基盤マネジメント分野 地盤物性学研究室 教授
副会長 小幡 宜和	環境法	札幌学院大学 法学部 准教授
芥川 智子	騒音	(地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部長
石川 志保	エネルギー	酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 准教授
伊藤 真由美	廃棄物等	北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門 資源再生工学研究室 教授
奥本 素子	環境社会	北海道大学大学院教育推進機構 科学技術コミュニケーション教育研究部門 准教授
片山 めぐみ	景観	札幌市立大学 デザイン学部 准教授
河合 久仁子	動物	東海大学 生物学部 生物学科 教授
北岡 真吾	持続可能性	北海道大学サステイナビリティ推進機構 キャンパスマネジメント部門 特任准教授
下鶴 倫人	動物	北海道大学大学院 獣医学研究院 野生動物学教室 准教授
永洞 真一郎	大気質	(地独) 北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所 環境保全部 リスク管理グループ 研究主幹
中山 翔太	生態系	北海道大学大学院 獣医学研究院 毒性学教室 准教授
水島 未記	植物	北海道研究センター 副センター長（自然系）
森 太郎	温室効果ガス (建築物)	北海道大学大学院 工学研究院 建築都市部門 空間デザイン分野 建築環境学研究室 教授
山田 俊郎	水質	北海学園大学 工学部 社会環境工学科 教授

(五十音順、敬称略)